

科目名	言語文化	単位数	3単位	実施予定授業数	105時間
-----	------	-----	-----	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	<p>(1)【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)【思考力・判断力・表現力】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	<p>教科書：言語文化（数研出版）</p> <p>補助教材：重要古文単語315（桐原書店）体系古典文法（数研出版）古典文法マスタートドリル（数研出版）精選漢文（尚文出版）精選漢文基本練習ノート（尚文出版）3STEP基礎古典（尚文出版）</p>

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい（評価規準）	時数	
1	【古文】随筆(一)/つれづれなるままに・神無月のころ(ズームアップ「世の中を見つめる目」)	4	<p>(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>(3) 粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。</p>	5	
	【古文】随筆(一)/ある人、弓射ることを習ふに（徒然草）	4	<p>(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>(3) 積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	4	
	【古文】随筆(一)/奥山に猫またといふものありて（徒然草）	5	<p>(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>(3) 文章の構成上、最後の一文がどのような効果を上げているかについて進んで考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	4	
	【漢文】「故事」（ズームアップ 故事成語の用例を探そう）	5	<p>(1) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>(3) 故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。</p>	4	
	1学期中間考査				
	【古文】和歌/万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	5	<p>(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>(3) 和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。</p>	4	
	【古文】歌物語/芥川（伊勢物語）	6	<p>(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>(3) 粘り強く第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	4	
	【古文】歌物語/東下り（伊勢物語）（ズームアップ「古典の享受史」）	6	<p>(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>(3) 粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。</p>	4	

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
1	【漢文】「史伝」 (管鮑之交・先従隗始・鶏口牛後) (ズームアップ「春秋・戦国時代」)	6	(1) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	4
	1学期期末考査			
【知識・技能】		○定期テスト(80%) ○小テスト(20%)		
【思考・判断・表現】		○定期テスト(80%) ○課題及びレポートの記述内容(20%)		
【主体的に学習に取り組む態度】		○課題及びレポートの記述内容(40%) ○生徒による自己評価(40%) ○発表・討論における相互評価(20%)		
【1学期の評価方法】		【知識・技能】40% 【志向・判断・表現】40% 【主体的に取り組む態度】20%		

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
2	【近代文学】小説(-) /羅生門(ズームアップ「芥川龍之介と古典」)	7	(1) 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (3) 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	6
	【近代文学】小説(-) /探究の扉 今昔物語集	7	(1) 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	4
	【古文】物語/なよ竹のかぐや姫(竹取物語)	9	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	4
	【古文】物語/天人の迎へ(竹取物語)	9	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 『竹取物語』の教科書掲出箇所以外についても積極的に調べ、学習課題に沿って発表に取り組もうとしている。	4
	2学期中間考査			
	【古文】随筆(二)/ありがたきもの(枕草子)(ズームアップ「女房と宮廷生活」)	10	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 (3) 積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	4
	【古文】随筆(二)/雪のいと高う降りたるを(枕草子) 探究の扉 香炉峰下、新ト山居、草堂初成、偶題東壁(白氏文集)	10	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 粘り強く『枕草子』と『白氏文集』の主題の違いを考え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	4
【古文】随筆(二)/中納言参り給ひて(枕草子)	10	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (3) 粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って作者の機知や心情を理解しようとしている。	4	

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
	【漢文】「漢詩」 (中国の詩・日本の詩)	11	(1) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	4
2学期期末考査				
【知識・技能】		○定期テスト(80%) ○小テスト(20%)		
【思考・判断・表現】		○定期テスト(80%) ○課題及びレポートの記述内容(20%)		
【主体的に学習に取り組む態度】		○課題及びレポートの記述内容(40%) ○生徒による自己評価(40%) ○発表・討論における相互評価(20%)		
【2学期の評価方法】		【知識・技能】40% 【志向・判断・表現】40% 【主体的に取り組む態度】20%		

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数	
3	【近代文学】小説(二城の崎にて(ズームアップ「神様の文体」)	11	(1) 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (3) 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	6	
	【古文】日記文学/帰京(土佐日記)(ズームアップ「漢文日記と仮名日記文学」)	11	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (3) 結びの一文に込められた作者の意図について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	4	
	【古文】俳諧紀行/序・平泉(おくのほそ道)(ズームアップ「旅と文学」)	12	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 改作前後の句について粘り強く比較し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	4	
	【漢文】「思想」(探究の扉 漢文の注釈)	12	(1) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	4	
	実力テスト				
	【古文】軍記物語/祇園精舎(平家物語)(ズームアップ「和漢混交文」)	1	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (3) 積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。	4	
	【古文】軍記物語/木曾の最期(平家物語)	2	(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (3) 「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	4	
	【漢文】「文章」(ズームアップ 科挙)	2	(1) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 (2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (3) 唐代中国の官吏登用制や兵制を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	4	
学年末考査					

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
3	【古文】注釈/古典と注釈	3	<p>(1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>(3) 「ちはやぶる」歌の解釈の多様性について積極的に調べ、学習課題に沿って自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。</p>	4
	【漢文】(探究の扉 漢文の注釈)	3	<p>(1) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>(3) 教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。</p>	4
【知識・技能】			○定期テスト(80%) ○小テスト(20%)	
【思考・判断・表現】			○定期テスト(80%) ○課題及びレポートの記述内容(20%)	
【主体的に学習に取り組む態度】			○課題及びレポートの記述内容(40%) ○生徒による自己評価(40%) ○発表・討論における相互評価(20%)	
【3学期の評価方法】			【知識・技能】40% 【志向・判断・表現】40% 【主体的に取り組む態度】20%	